

令和2年度第5回公立大学法人滋賀県立大学役員会議事録

日時・場所：令和2年9月15日（火）15:30～16:30 評議会室

出席者：廣川理事長、青木副理事長、倉茂理事、山根理事、高橋理事、
林理事、木村理事、山本監事、元永監事

事務局：八里事務局次長、山田総務課長、高木財務課長、小椋経営企画課長、
武田学生・就職支援課長、郡田教務課長、土淵地域連携・研究支援課長
塚本参事、杉田課長補佐、吉田主幹

令和2年度第4回公立大学法人滋賀県立大学役員会議事録（案）について、
一部修正のうえ承認された。

議 題

（報告事項）

1 滋賀県公立大学法人評価委員会の結果および令和元事業年度における業務の実績に関する評価結果について

山根研究・評価担当理事から、資料に基づき報告があった。

〔主な意見・質疑等〕

・寄付金獲得に向けた働きかけの評価がⅡとなっているが、具体的な提案などはあったのか。

→具体的な提案があったわけではなく宿題をいただいたものと認識している。
単にお願いするだけでは寄付は集まらないので、寄附金により我々が何をしたいのかを発信することが重要と考えている。

2 WEBオープンキャンパスの開設について

小椋経営企画課長および郡田教務課長から、資料およびWEBオープンキャンパスサイトの映像に基づき報告があった。

〔主な意見・質疑等〕

・映像はYouTube上に掲載されているようだが、誰でもが見られる方法ではなく、申し込みをした者だけがアクセスできるような仕組みとした方が良いのではないか。

→ご意見や他大学の状況なども踏まえて、どういう仕組みとするのが良いのかについて、今後検討する。

3 新型コロナウイルス感染拡大予防にかかる対応について

青木副理事長から、資料に基づき報告があった。

〔主な意見・質疑等〕

・学内ネットワークの増強が必要と考えるが、どのような計画となっているか。

→滋賀県の9月補正予算において、学内ネットワークの改修にかかる経費を要求している。全国的に同様の取り組みがなされていることから、すぐに改修を終えるのは困難な状況にあるが、できるだけ早く対応していきたい。

- T e a m s は、Z o o m 等と比して一番容量を必要とするシステムではないか。容量を抑えるために映像や音声をOFFにすると、学生は受講しづらくなると考えるが、そのあたりの兼ね合いをどう考えているか。
 - 学内の通信容量が小さいことから、容量を抑えるため学生からの映像と音声は送らないことを前提とし、教員との交信はチャットにより行うことを考えている。また、本学ではマイクロソフトの包括ライセンス契約を締結しており、教員・学生が追加費用なく利用できることからT e a m s を利用することとしている。
- 中期計画について、3年前とは環境が変わってきていることを受けて、変更を検討しているか。
 - 少し落ち着いてきているものの、新型コロナウイルスと戦っているところ。目標の変更が必要な部分が出てくれば、来年の評価委員会に向けて、提案していきたいと考えている。